

Digital Comic Association presents



『Manga Translation Battle vol.3』

授賞式・シンポジウム開催!!!

Manga Translation Battle vol.3 からみる、海外でのマンガの読まれ方

あなたはどこでMANGAに出会った? ~海外でのマンガの読まれ方~

プロ・アマ問わず誰でも参加でき、マンガ翻訳の優秀者をオーディエンスと審査員による投票で決定するマンガ翻訳コンテスト、『Manga Translation Battle vol.3』。

マンガ翻訳家志望者の活躍の場を増やし、世界のより広い層に質の高い日本のマンガ文化を発信するプラットフォームとなることを目指して、今年で3年目の開催となります。

今年度の大賞受賞者を迎える授賞式と出版関係者を中心としたトークセッションを開催します。トークセッションではマンガがより広く海外で読まれるためにはどうすれば良いか、送り出す側と受け取る側、双方の現状を元に登壇者の方々に語って頂きます。

日時

2015年2月24日(火)

19:00~21:00 (開場18:30)

場所

六本木ヒルズ アカデミーヒルズ

定員

150名(事前申込制)

[主催] デジタルコミック協議会

[協力] 文化庁(メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業)

[協賛] 角川文化振興財団

[コンテスト運営協力] 株式会社 電通 / Tokyo Otaku Mode Inc.

参加申込 WEBサイト『メディア芸術カレントコンテンツ』よりお申し込み下さい。

トークセッション

スピーカー

江上英樹

編集者・元小学館『月刊IKKI』編集長

竹熊健太郎

編集家

椎名ゆかり

文化庁「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」

コーディネーター／海外マンガ翻訳者

モデレーター

井上伸一郎

株式会社KADOKAWA 代表取締役専務

<http://mediag.jp/manga3>

■ 翻訳コンテスト授賞式

司会 脊山麻理子 (フリーアナウンサー)

プレゼンター マット・アルト (翻訳家、ライター、コンテスト審査員) 他
※ 予定

■ トークセッション ※ 日・英 同時通訳有り

マンガを海外へ送り出す側と、受け取る側 (読者) のあいだにミスマッチはないのか…。『日本マンガの海外への広がり方』『海外の読者はどうやってマンガを知り、選び取るのか』『効果的なプロモーションとは』など、様々な角度から現状を捉え、より広く海外でマンガを読まれるためにはどうすれば良いかについて語ります。

登壇者プロフィール

スピーカー

江上英樹 (編集者・元小学館「月刊IKKI」編集長)

1958年生まれ、神奈川県出身。東京大学文学部心理学科を卒業後、1982年(株)小学館に入社し「月刊サウンドレコパル」編集部配属。その後「ビッグコミックスピリッツ」を中心にマンガ編集者として従事。『伝染るんです』『東京大学物語』『月下の棋士』をはじめ数多くのマンガ作品を担当する。2000年、スピリッツの増刊号として「IKKI」を立ち上げる (2003年には月刊誌として独立し、その後、十年以上に亘って編集長をつとめる)。この雑誌は、玄人好みのコミック雑誌として、一部に熱狂的な読者をもった。そして、アニメ化・実写化された『ぼくらの』『さらい屋五葉』『フリージア』『俺はまだ本気出してないだけ』などのヒット作も生んだが、2014年9月惜しくも休刊。それとタイミングを同じくして、(株)小学館を退社。現在はフリーのエディターとして、マンガ界への次なる一手を思案中。

竹熊健太郎 (編集家)

1960年生まれ、東京出身。桑沢デザイン研究所中退後、フリーランスのエディター・ライターとして活動。1989年小学館ビッグコミックスピリッツにてマンガ家相原コージと共に『サルでも描けるマンガ教室』を連載開始 (1991年まで)。同社より単行本を上梓 (3巻まで)。1986年『諸星大二郎・西遊妖猿伝の世界』編 (双葉社)、同年『星野之宣STAR FIELD』編 (双葉社)、1994年『ファミ通のアレ (仮題) 1〜3』羽生純と共著。1997年『筧棒な人々〜戦後サブカルチャー偉人伝』編著 (太田出版)、同年『庵野秀明パラノ・エヴァンゲリオン』編 (太田出版)。2003年より多摩美術大学共通教育学部漫画文化論非常勤講師。2008年京都精華大学マンガ学部客員教授。2009年より京都精華大学マンガ学部教授。2012年よりオンライン無料コミック雑誌「電脳マヴォ」編集長。

椎名ゆかり (文化庁「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」コーディネーター／海外マンガ翻訳者)

東京都生まれ。アメリカ・オハイオ州ボーリンググリーン州立大学院ポピュラーカルチャー専攻修士課程修了。平成23年度から25年度まで文化庁芸術文化課でマンガの研究補佐員をつとめる。現在は海外マンガやマンガについての論文の翻訳を行う傍ら、海外における日本マンガについての記事も執筆。主な訳書に『ファン・ホーム ある家族の悲喜劇』(小学館集英社プロダクション、第15回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞)、『ブラックホール』『デイトリッパー』(共に小学館集英社プロダクション、それぞれ第17回、18回文化庁メディア芸術祭マンガ部門審査委員会推薦作品)、『メガトキョー』『ピポチュー』(共に講談社)、他。

モデレーター

井上伸一郎 (株式会社KADOKAWA 代表取締役専務)

1959年東京生まれ。1987年4月(株)ザテレビジョン入社。アニメ雑誌『月刊ニュータイプ』の創刊に副編集長として参加。以後、女性情報誌『Chou Chou』、マンガ雑誌『月刊少年エース』等の創刊編集長などを歴任。2007年1月(株)角川書店 代表取締役社長に就任。2013年4月(株)角川グループホールディングス (現 KADOKAWA) 代表取締役専務に就任し現在に至る。

翻訳コンテスト公式ページ: http://otakumode.com/sp/mtb_third/

メディア芸術カレントコンテンツ: <http://mediag.jp>

メディア芸術に関するニュース・コラム・イベントカレンダーなど情報満載。